



### MOMO DE ビアガー電 出発進行!

Text by 岡 将男

■倉敷市の姉妹都市・ニュージーランドのクライストチャーチでは、世界で唯一街中を走る路面電車の中でディナーが楽しめる。暮れなすむ町並みと夜景を背景にグラスを傾けると、街そのものがすばらしい舞台装置に変身する。

こんなことがいま広島と岡山で可能になろうとしている。広島では市民グループが50回にわたって、ドイツから来たドルトムント電車で「レストラン電車」を走らせている。まだまだ不定期なのだが、延べ2500人が利用したことになる。岡山で今回RACDAが「ビアガー電」を走らせたのも、こうした都市の夜の遊びを演出するための試みなのである。まずは岡山の人々が路面電車を使って色々な遊びを考えて欲しい。都市観光がこれからの日本の重要産業になる中、岡山のアメニティーの目玉にしたい。

7月29日から後楽園で幻想庭園が開催される。後楽園300年を記念してはじめられたこのイベントだが、実は検討中に「文化財の中でお酒を飲むイベントはけしからん」という意見も結構あったのである。大名庭園として世界遺産を目指す中心が後楽園なのだが、それでも現代の我々がその特徴を活かした遊び方をすることは大事なことである。まして後楽園を作った池田綱政公は、先代の名君・池田光政公の質実剛健の遺訓を十分に活かしつつ一方で後楽園造営などさまざまな文化政策を行ったのである。「儉約、儉約…」だけでは息がつまり、庶民は窒息するのである。それは結局、まわりまわって経済にも打撃を与えてしまう。

チボリ公園の誘致の前提は、後楽園の存在だということもあまり知られていない。岡山市制100周年事業として企画



▲「ビアガー電」初運行のテーブルカット。お客さんの中から抽選で3人。



▲MOMOはいつでもくつろぎと楽しみの空間に変身できます。この日のビアガー電は車内での楽器演奏がありました。

## この夏の「ビアガー電」

平成20年8月8日(金) 22日(金) 8月29日(金)



※おかげさまでご好評につき8月8日(金)、22日(金)は満席となりましたのでご了承下さい。

使用電車	MOMO	料金	一人3500円	飲み放題・食事つき
定員	着席定員22名(貸切の場合30名程度でも可能、貸切料金は岡電まで問合せ)			
行程	18:50 岡山駅集合 19:00 岡山駅MOMO到着 出発式テーブルカット(参加者の中から抽選で3名) 19:10 岡山駅出発→東山往復→岡山駅・トイレ休憩→清輝橋往復→岡山駅 20:53頃 新西大寺町電停で、田町中央町方面下車可能 21:00 岡山駅到着、解散、東山線沿線の方は下車可能			

ドレスコード	カジュアル
予約先	岡山電気軌道 (086-272-5520)
問合せ先	RACDA (086-232-5502)



されたとき、天下の三名園・後楽園がある上に、チボリを誘致し、異文化の交流から都市の魅力を作ろうとしたのである。都市でも個人でも、魅力というものは交流と融合から生まれてくるものではないだろうか。チボリが倉敷に移ってもその意味は変わらなかったはずだが。

今、日本は閉塞状況にある。まして岡山の場合、県財政の危機とかで、そうでなくとも景気が停滞している上に「アカスリし過ぎて、身まで削る」よ

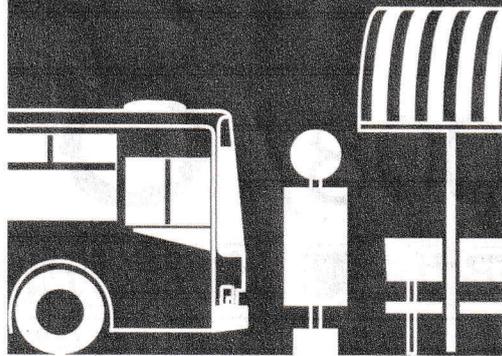
うな状態になっている。こうした時、大事なのは萎縮しないことである。こうした現状を打破するために、RACDAは公共的な視点からも街中遊びを大胆に提案したい、それがビアガー電の本当の目的だ。

やがて岡山市が政令市になり、吉備線がLRTになった頃には、二台目のMOMOはレストラン電車として、吉備路の鬼ノ城や造山古墳めぐりには欠かせないものになっているだろう。

■第5回親子で楽しむ鉄道フェア 8月4日(月)まで  
路面電車が走る街の鉄道模型ジオラマを会場で展示しています。  
丸善・岡山シンフォニービル店 地下ギャラリー  
AM10時~PM8時まで(最終日はPM5時まで)

RACDA 事務局  
〒700-0823 岡山市丸の内1-1-15(禁酒会館3F)  
TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda\_okayama@ybb.ne.jp

# 停留所



■7月1日から、岡電・両備・下電の3社のバス・路面電車において「ハレカ定期券」の運用がスタートしました。

●「ハレカ定期券」とは？

一昨年10月から運用が始まっているICカード乗車券「ハレカ」の定期券版です。既に「ハレカ」を持たれている場合は、そのカードに定期券機能を付加することができます。ただし、カードの発行会社(カード裏面に記載)の路線でないと定期券機能を付加できません。

また、新たに「ハレカ定期券」として購入することもできます。この場合はカード内に定期券情報のみが書き込まれますが、チャージして使うことも可能です。

さらに、万が一の紛失の際には、再発行することも可能です。(デポジット=預り金と再発行手数料が必要)紙定期券では再発行ができなかったのが、この点安心です。

●実際に使ってみる

筆者が通勤用に購入した「ハレカ定期券」を実際に使ってみます。

使い方は「ハレカ」などと一緒で、乗車時に読み取り機にタッチ、降車時に読み取り機にタッチ、これだけです。

従来の紙定期券では整理券を取る必要がありました。が、「ハレカ定期券」ではそれも不要です。

なお、降車時のタッチの際、モニター表示をよく確認されることをお勧めします。

「ハレカ定期券」では降車時のタッチの際、モニターの左側にはチャージしている残額など、右側には定期券の有効期限と各種メッセージが表示されます。例えば、乗り越しや定期券区間外での乗車の際は「

# 特集 ハレカ定期券、スタート

## 乗車時タッチ



## 降車時タッチ



▲環境定期として利用の場合の表示



▲筆者の「ハレカ定期券」



イラスト/白井崇裕



▲区間外・乗り越しの場合の表示

区間外です」、有効期限間近(5日前から)であれば「有効期限があとわずかです」、期限切れから5日間は「定期期限切れです」と表示されます。

また、各社の環境定期券制度にも対応しており、「環境定期 現金でお支払いください」と表示されます。

●今後について

3社のうち、岡電はすべての定期券を「ハレカ定期券」での発売に切り替えました。両備では「E-定期券」と「ことぶきパス」を除き「ハレカ定期券」での発売となりました。下電では一部のスクールバスを除き「

ハレカ定期券」での発売となりました。また、7月22日からの岡電と中鉄の53号線共同運行に伴い、中鉄の一部の車両でも「ハレカ」「ハレカ定期券」などが使えるようになりました。ただし、共同運行区間のみに係る定期券は岡電でのみ発売となります。

(石井孝幸)

## 今月の☆★ できるバス・消えるバス

●53号線共同運行開通(7月22日実施)

岡電・中鉄の2社による共同運行が下記の路線でスタートしました。のりばは、天満屋5番・岡山駅7番です。

半田山ハイツ・津高台団地線(循環運行ではなくなり、天満屋方面→津高営業所妙でん寺前→津高台→半田山→本村で折り返し)

国立病院線、幸香線、免許センター線

これに伴い、岡電の岡電高麗・天満屋～万成線が廃止されました。また、津高営業所～三野線・津高営業所～妙善寺線は岡山駅が起終点となり、岡山駅～三野間・岡山駅～妙善寺間の運行となりました。

●岡電新路線「おもと病院・平田線」(7月22日運行開始)

天満屋～岡山駅～市役所～大元駅法務局入口～おもと病院前～今5丁目～西市本村公園～平田中央～中仙道西～北長瀬駅前  
平日朝、北長瀬駅前発の始発(7:25)便のみ県庁前まで延長運行します。

●岡電の停留所名変更(7月22日実施)

津高営業所妙でん寺前(旧 津高営業所)  
おかやま福祉の郷(旧 福祉センター)  
西川緑道公園前(旧 西川)  
岡南産婦人科入口(旧 社宅前)  
浦安体育館前(旧 カルチャーパーク前)  
市町村振興センター入口(旧 今村電話局北)  
田中・御南西公民館前(旧 田中公会堂前)

●バスカードの発売終了予告

9月10日を最後に岡山県内共通バスカードの発売を終了し、9月30日をもってバスカードの利用を終了するという発表がありました。

これに伴い、岡電・両備・下電の3社は「ハレカにのりかえキャンペーン」を9月30日まで実施中です。期間中は「ハレカ」「ハレカ定期券」のデポジット(預り金)が無料になります。

●中鉄の深夜バス廃止

2000年10月から毎週金曜日(祝日の場合は木曜日)に運行されていた深夜バス2路線(天満屋～津高台・半田山ハイツ～幸香線と天満屋～佐山団地～宮東線)が、7月18日の運行を最後に廃止されました。